



答 申 第 2 号
令和 6 年 9 月 18 日

那覇市長 知念 覚 様

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会
委員長 屋良 朝雄



地方独立行政法人那覇市立病院令和 5 年度における業務実績評価について
(答申)

令和 6 年 7 月 22 日付け諮問第 2 号について、次のとおり答申します。

記

別紙「地方独立行政法人那覇市立病院 令和 5 事業年度業務実績評価に関する意見」のとおり答申します。

(別紙)

地方独立行政法人那覇市立病院

令和5事業年度業務実績評価に関する意見

令和6年9月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

本評価委員会において、那覇市長より令和6年7月22日付け諮問第2号で諮問のあった「地方独立行政法人那覇市立病院令和5年度における業務実績評価について」について審議を行った。その結果は以下のとおりである。

1. 全体的な意見

令和5年度の早い段階で新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、その流行は続き、通常の医療提供体制への移行は思うようには進まず、病院の経営環境は大変厳しかった。そのような中であっても、地方独立行政法人立の市立病院として、市民に提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善に努めたことを評価したい。引き続き、那覇市立病院としての使命を果たしていくことを期待する。

中期計画第1から第4の各事項についての意見は次のとおりである。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

救急医療体制の維持・充実について、救急患者のうち入院を要する患者数、救急車受入数のいずれも増加したこと、また、周産期医療において、NICU入院患者数、分娩件数が増加しており、地域に安心を与えていることを評価する。

しかし、那覇市立病院の象徴とも言える小児救急医療提供体制が小児科医の不足により縮小しており、医師確保や県立南部医療センター・こども医療センターとの連携等を進め、本島南部医療圏の安定的な小児救急医療体制の再構築に努められたい。

このほか、新型コロナウイルス感染症5類移行後も保健所との強い連携を維持したこと、保健・福祉行政との連携において特定保健指導件数を大幅に増加させたこと、また、医療安全対策を徹底し、職員の医療安全に対する意識を向上させたことを高く評価する。

そして、新たに開設した教育研究支援センターにより、医師の定着率が高まり、新病院の将来を担う人材確保へとつながることを期待する。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

災害時対応に始まり、がん相談支援の拡充、医師の働き方改革への対応と、様々な場面、業務において、「PDCAサイクルの確実な実践」を着実に進めたことを高く評価する。

第3 財務内容の改善に関する事項

救急医療係数を着実に増加させた取組みを高く評価する。決算は多額の当期純損失を計上したが、現在地での新病院建設という難事業を進めながら、診療

実績の回復に努め、収益の改善が図られたことを評価する。

第4 その他業務運営に関する重要事項

国際医療支援室を開設し、JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）を取得したこと、前年度よりも大幅に増加した外国人受診者にもスムーズに、かつ、幅広く対応できており、高く評価する。

2. 項目別の意見

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

注1：（ ）は評価項目の番号を表す。以下同じ。

注2：【 】は地方独立行政法人那覇市立病院（以下、「市立病院という。」）の自己評価を表す。以下同じ。

(1) 救急医療体制の維持・充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

（意見）

救急患者数、そのうち入院患者数、救急車受入数いずれも増加しており、那覇市及び地域の中核を担う急性期病院としての役割を果たしていることを評価する。今後、医師の確保により365日24時間救急医療体制の再構築に努められたい。

(2) 充実した小児・周産期医療の確保【ウエイト2 評価Ⅲ】

（意見）

小児入院患者数、特に、救急から入院した小児患者数が増加したこと、さらに周産期医療においても、NICU入院患者数、分娩件数が増加しており、地域に安心を与えていることを評価する。しかし、365日24時間体制での小児救急医療提供体制が令和6年3月より縮小しており、小児科医の確保、県立南部医療センター・こども医療センターとの連携等を進め、本島南部医療圏における安定的な小児救急医療体制の再構築に努められたい。

(3) 災害時対応及び緊急時における医療支援【ウエイト2 評価Ⅲ】

（意見）

九州沖縄ブロックDMAT実働訓練が県内で開催され、市立病院も積極的に参加し、市立病院DMATの質の維持及び向上に努めたことを評価する。

(4) 他医療機関との連携【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

コロナ禍において中断していた災害訓練を再開したことを評価する。
ネットワークづくりの構築は、今後の課題としたい。

(5) 医療支援への取り組み【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

能登半島地震での支援活動として、市立病院のDMAT隊員を派遣したことを評価する。

(6) 保健所との連携【ウエイト2 評価Ⅳ】

(意見)

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、保健所との強い連携が図られており、高く評価する。感染症への対策・対応等は重要であり、引き続き連携を継続されたい。

(7) 保健・福祉行政との連携【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

人間ドック件数、健康診断件数が増加したこと、特定保健指導について、効率的な保健指導の実施により、多くの対象者へ積極的な指導を行なったことを高く評価する。

(8) 地域包括ケアシステムの推進【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

患者サポートセンターの運用により、退院支援の強化が図られた。特に退院調整実施件数が増加しており、那覇市の地域包括ケアシステムの推進に寄与していることを高く評価する。

(9) 市民への情報の提供・発信【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

市民公開講座について、場所の問題等を解決し、開催することを期待したい。

(10) 診療機能の充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

目標件数に達してない項目もあるが、手術件数（全身麻酔手術）が大幅に増えたことを評価する。専門人員の確保により、さらなる高度医療

の充実を期待したい。

(11) 医療機器等の計画的な更新・整備【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

(12) がん医療の充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

マンパワー不足により多くの指標で目標値を下回ったものの、がん患者外来化学療法患者数が増加したことを評価する。感染対策を講じながら、市民や患者向けの研修会、フォーラム等の開催を増やす工夫を期待したい。

(13) 地域医療機関との連携推進・強化【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

紹介率、逆紹介率のいずれも 80%以上であり、地域医療支援病院として評価する。

(14) 人材の確保及び育成【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

高度医療（手術支援ロボット）を担える医師を確保できたこと、学会論文発表に関して、論文発表が大幅に増加したことを高く評価する。教育研究支援センターの開設により、初期研修医・専攻医を積極的に勧誘する体制が確立された。初期研修医の採用に始まり、専攻医、そして、専門医へと、医師の定着率を高め、新病院の将来を担う人材の確保につながることを期待したい。

(15) 患者中心の医療【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

(16) 医療安全対策の徹底【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

インシデントレポート報告件数は大幅に増え、アクシデントレポート報告件数は減少している。また、感染管理チームラウンド、対策委員会、研修会の回数が増えている。総じて職員の医療安全に対する意識の高さの現れであり、高く評価する。

(17) 医療の標準化と最適な医療の提供【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

クリニカルパス適用患者数が大幅に増えており、医療の標準化、最適な医療の提供に寄与していることを高く評価する。

(18) 法令の遵守及び行動規範に沿った業務運営【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

(19) 快適性及び利便性の向上【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

手術室をはじめ急病センター、病棟における環境改善を行ったことを評価する。ただし、病院の客観的評価として患者満足度調査は重要であり、是非とも実施されたい。

(20) ボランティアとの協働の推進【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見)

新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いたら、再びボランティアとの協働を推進できるよう、準備されたい。

(21) 職員の接遇向上【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(22) PDCA サイクルの確実な実践【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

災害時対応に始まり、がん相談支援の拡充、在宅医療・介護連携のための勉強会開催、公益財団法人日本医療機能評価機構による医療機能評価において指摘を受けた項目の改善、医師の働き方改革への対応と、様々な場面、業務において、「PDCA サイクルの確実な実践」を着実に進めており、高く評価する。

(23) チーム医療の推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

多職種によるケアチームが質の高い医療を提供しており、評価する。

(24) 多種職連携の推進【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

治療の標準化、安全のため、多職種連携の院内パス委員会が一層強化され、パス適用患者数（適用率）が上昇したことを高く評価する。

(25) 働きやすい職場環境づくり【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

積極的に、職員の負担軽減策を講じ、働きやすい職場環境づくりに努め、医師の働き方改革への対応も着実に進めていることを高く評価する。

第3 財務内容の改善に関する事項

(26) 経営機能の強化【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

診療報酬の請求漏れや減点を防止する取り組みを着実に進めており、評価する。

(27) 収益的収支の向上【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

救急医療係数を着実に増加させた取り組みを高く評価する。コロナ禍の影響、それに伴う人員不足により、しばしば病床制限を行ったため、病床稼働率は目標値を下回ったが、前年度より上昇したことを評価する。

(28) 弾力的な予算執行と費用節減【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

新型コロナウイルス感染症の流行がまだ収支に影響を及ぼしている。令和5年度の新設補助金を有効活用したことや後発医薬品使用率の高率維持を評価する。

(29) 経営の効率化【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

経常収支比率は目標を達成したが、医業収支比率は下回った。新病院開院に向けた人員整備等による給与費の増加や原材料費の高騰、工事費

支払に伴う消費税計上により、医業費用が医業収益を大きく上回ったこと、また、アスベスト除去による臨時損失が当期純損失に影響を及ぼした。現在地での新病院建設という難事業を進めながら、新型コロナウイルス感染症 5 類移行後は診療実績の回復に努め、収益の改善が図られていることを評価する。

(30) 病院事業運営費負担金に関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

運営費負担金の対象となる経費に係る収支状況が適切に分析され、那覇市へ情報提供したことを評価する。

第4 その他業務運営に関する重要事項

(31) 施設整備に関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

(32) 市立病院建替えに関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

—

(33) 外国人患者に対応できる医療の提供【ウエイト1 評価Ⅴ】

(意見)

国際医療支援室を開設し、JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）を取得した。前年度比で1.5倍と大幅に増えた外国人受診者にもスムーズに幅広く対応できており、高く評価する。